

GRCツールを活用した 統合的リスク管理のご紹介

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

将来に向けたリスク管理は万全ですか？

企業はグローバルな事業の展開や多角化、新たなテクノロジーの出現などを背景に、多様化するリスクにさらされるとともに、様々な規制対応に迫られています。「その場限り・個別に都度対応」としていた従来型のリスク管理手法は、機能・プロセス・手法・インフラ等が統一されておらず、複雑化した管理は業務面と財務面で大きな負担となっているのが実情です。EYのコンサルティングサービスでは、テクノロジーを活用したGRC変革ソリューションの導入を推進し、貴社の全社的なリスクを可視化し、中核事業の成長・変革に対応可能な攻めのリスクマネジメントの構築を支援します。

なぜGRCツールか？

会社組織の各々のリスク所轄部署において、バラバラに対応しがちであったリスク管理項目について、ガバナンス、リスク、コンプライアンス（GRC）の3つの視点から、重複なく効率的にリスクマネジメントを統合したGRCモデルの導入が効果的です。全社横断的なリスク管理最適化を実現するGRCツールを導入することにより、リスクガバナンス、リスク管理、リスク統合、業務プロセス管理への適用を網羅した上で、以下のメリットを出すことができます。

コスト削減	<ul style="list-style-type: none">▶ 重複したリスク管理活動の解消▶ 事業リスク管理における断片的・手作業による都度対応の削減▶ 調査票配布・回収運用の効率化▶ ワークフロー自動化
リスク低減	<ul style="list-style-type: none">▶ 整合のとれた持続可能なリスク管理活動とモニタリング▶ リスク状況可視化による経営ニーズに沿った監査▶ 主要リスク指標のアラート自動化▶ 過去の監査結果の保持
付加価値	<ul style="list-style-type: none">▶ 組織を横断した全社のリスク評価に基づくリスク管理▶ IIA基準等に基づく内部監査プロセスの標準化▶ 持続可能なリスク管理プロセス▶ タッチボードによるリアルタイムな経営層へのリスク提示

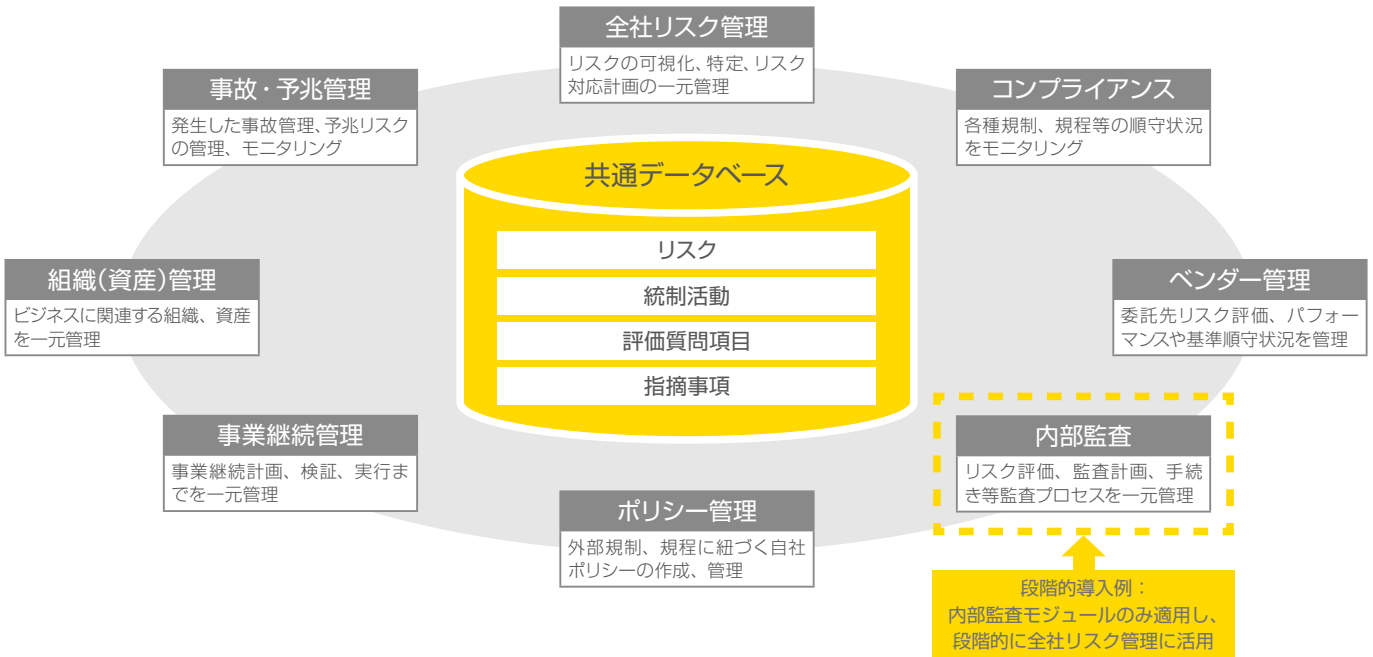


EY

Building a better
working world

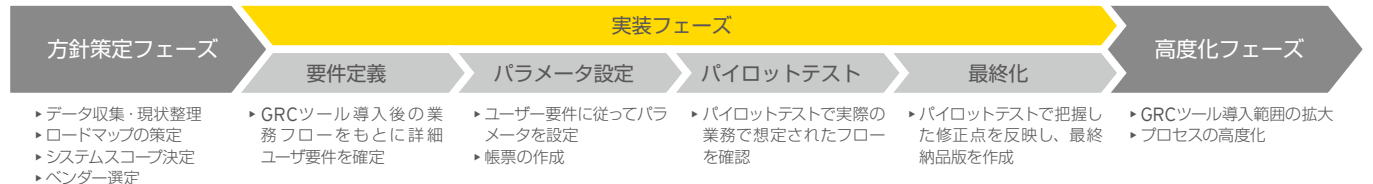
GRCツールの全体イメージ

GRCツールの機能を活用することで、出所が多岐にわたる情報の収集が可能となります。また、複雑に絡み合う関連性を整理した上で、各種法規制に紐付いた評価手続きにより、最新の情報に更新、維持が可能です。GRCモデルの部分的な導入から、段階的に適用範囲を拡大していくこともでき、負担を最小限にしなが、短期間でリスク管理活動の効率化及び精度の高いリスク評価を実現します。



成功へのアプローチ

EYのコンサルティングサービスではGRCツールを活用した全社統合リスク管理導入支援サービスを各種ご用意しております。GRCツール導入目的に合わせて、一部のモジュールからの導入に対応することも可能です。



導入事例

大手金融機関	大手製造メーカー
内部監査やリスク管理活動で発見された検出事項の一元管理を実現。全社的な問題の把握や根本原因の特定を可能にした。今後はSOX評価や他の認証活動 (ISO、ISMSなど) から発見された検出事項も一元管理する予定。	現場で起こるさまざまなインシデントの一元管理を実現。インシデントの早期対応とともに、対応漏れの低減や効率的な対応を可能にした。また過去のインシデントを分析することにより、予兆の発見や事前の対応策を打つことも可能となった。

お問い合わせ先

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
 Office: 03 3503 3500 (代表) URL: ey.com/ja_jp/consulting
 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー